

米子市人権教育小地域懇談会ワークショップ

「寄ってごしない、聞いてごしない ～一人ひとりができること～」

●プログラムの流れ

流れ	分	学 習 活 動
導入	10	参加者の班分けをし、(参加者の所属が偏らないよう注意する。)今日の学習内容や <u>学習の目的(一人ひとりができること)</u> を確認する。 模造紙(別紙参照)とグループごとに色違いのマーカーを数本用意する。 話し合いのルールについて説明する。(尊重・参加・守秘)
展開1	7	自分にとって <u>幸せとを感じる事柄や、</u> などを、模造紙の 1 に書き込む(自己紹介しながら一巡して書き入れる。二巡目以降は自由)
		1 に書いたしあわせをつかむために必要なこと(お金や仕事など)を模造紙の 2 に書き込む。
展開2	25 + α	① 各グループで人権問題を書いたカードの中から1枚を引き、模造紙の 中央 に置く。(カードは袋に入れるなど見えないように) ② 引いたカードの人が生活の中で感じる <u>不安や悩みなどや、人権侵害(差別)的な事柄</u> にはどんなことがあるかを考え、模造紙の 3 に書き込む(経験、知識、新聞、ニュースなどから):ここまで10分 ③ 模造紙を他のグループと交換する(5分程度読む時間を作る) ④ 新しく来た模造紙の 3 に、追加できる事例を書き加える。*似た事柄でもかまわない。既に書かれている意見に同調するときは、マーカーで囲ってもよい。 ⑤ ③~④を2~3グループ繰り返す。 ⑥ 各模造紙を最初のグループに戻し、書かれている内容を確認する。(必要に応じ、Q&A。)
展開3		① 模造紙の 3 にあげられた問題がなぜ起こってしまうのか(原因)を話し合っ、模造紙の 4 に書き込む。
		② 次に 3 と 4 を見ながら、 <u>自分たちが、一個人、自治体全体、PTAなどとして、解決のために何かできそうなことやできること(行動してみたいこと)のアイデア</u> を模造紙の 5 に書き込む。(できるだけ多くの問題について考えて、アイデアを出してもらおう。)……(20分)

		<p>③ 各グループのアイデアを見て、共通項を探す。</p> <p><方法1>グループ発表</p> <p><方法2>ギャラリーウォーク（みんなで作品を見る）</p> <p><方法3>模造紙を回す</p> <p>* 発表の方法に関しては、打ち合わせで決めておく。</p>
振り返り	8	<p>① 今回の懇談会全体を通して、感じたことや気付いたこと等について、各グループの中で話し合う。</p>
まとめ (市推進員)	5	<p>☆ 私たちの社会には、人の幸せを阻むさまざまな問題が起こっている（模造紙の3）そしてその問題を起こしているのも私たちである（模造紙の4）しかしそれらの解決のために、私たちができることも必ずある（模造紙の5）。（既に取り組んでいることが、何らかの問題解決につながっていることもある。）</p> <p>☆（模造紙の1, 2）に書いたように、幸せになりたいのは誰も同じ。その幸せを阻むのも守るのも、私たちである。今日皆さんと話し合ったように、小さなことでも、私たちが身近な地域でできることは必ずある。解決する力を、私たちは持っている。</p> <p>☆ ここに暮らして良かったと、すべての人が思えるような地域を皆でつくり上げましょう。</p>